



FUJIEDA ROTARY CLUB
藤枝ロータリークラブ会報

例会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-35-30 TEL 054-641-3321
 事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
 URL <http://www.fujieda-rotary.org/> E-mail club1972@fujieda-rotary.org



**世界への
プレゼントになろう**

会長：森下 敏顯 副会長：鈴木 舜光 幹事：大長 昭子 副幹事：島村 武慶
第2122回 ●ソング 我が藤枝ロータリー
 ●ソングリーダー 土屋 秀夫君

【富士山】
 写真提供：櫻井 龍太君

会長報告

森下 敏顯君

皆さん、こんにちは、ここ1週間程、最近にない寒波に見舞われ、寒い寒いと言って凍えていました。



私にも新潟、福井に親戚がありますが、雪の季節の大変さをよく聞いていますが、とても静岡で育った僕には対応できないでしょうね。

先の日曜日は十年ぶりぐらいに、夕方 NHK テレビの前に陣取り、琴将菊の応援をさせていただきました。勝負あったの瞬間はおもわずの歓声とガッツポーズをやっていました。放送の中で琴将菊の性格の良さ、やさしさ、数々の苦労話をこれでもかと放送するので、おもわずもらい泣きしてしまいました。

さすがにNHK大河ドラマ並みに盛り上げますね。これも彼が本当にやさしく真面目で頑張り屋さんなので、話の種がつぎからつぎと途絶えない結果だろうと思います。

又、取り組み後の豊ノ島との笑顔の抱擁、お父さんの涙、かわいいお嫁さんの笑顔など、取りたくても取れない名場面が次々、ライブで画面に映るなど、常日頃のおこないがこの力士のここの素直に場面に現れてくるのだなあと感じ納得しました。

ここ何年も外国人力士の勝った時のドヤ顔を見続けてきたので、目をつぶり、口をへの字にうれし泣きを我慢する顔は見ていて本当におめでとう良かったねと親戚でも後援会でもなく、にわか琴将菊ファンなのに一緒に泣けてきました。

31歳、相撲の世界ではベテランの域に入りますが、一般社会ではまだまだ、若者人生経験もまだまだ浅い中で、日本中の注目を

浴びての優勝は本当に苦しく重圧であったと思いますが、良くがんばりました。おめでとうございます。

来場所以降もがんばってください。うれしかった分、名誉を得た分、もっともっとプレッシャーがのしかかるとおもいますが。

現役であるかぎり、のんびり一息入れるときはありません、精進してください。

大関、私を見てください、君より現役がうんと長いし、将来、引退しても栄光の会長職いわゆる親方株を持てるかどうか分かりません。厳しいものです。

そうです、今度はこちらを大関が応援してください。がんばります。

それではこれで会長報告を終わりにいたします。ありがとうございました。

幹事報告

大長 昭子君

- ・第2620地区より
 2016-2017年度R I会長テーマが届きました。
 英字版ロータリアンが届きました。

出席報告

平野 純也君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
25/41 60.97%	33/41 80.48%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

- 荒井君 ○池ノ谷君 ○石垣君 ○大石君
 ○大塚高君 ○大塚博君 ○竹田君 ○仲田晃君
 ○松田君 ○村松君 池谷君 江崎晴君 大杉君
 落合君 栗原君 玉木君

(2)メイクアップ者

- 杉山 静一君(焼津) 大石 英典君(焼津)
 鈴木 透君(焼津・静岡北) 松葉 義之君(焼津)

■ スマイルBOX

平野 純也君

・クリスマス例会、孫が大変たのしませて頂きました。
松葉 義之君

スマイル累計額 157,000円

■ インターアクト年次大会報告

＜藤枝順心高校インターアクト部

27年度活動報告＞



山田 賀昭君

本年度のインターアクト部は明朗快活な3年生7人と企画力と意欲を持つ2年生3人が活動に取り組みました。

週2回、点字絵本・点字カレンダーの製作を行い、土曜日・日曜日時間も時間が許すときは『藤枝光文庫』でも製作活動を行っている。

手作りにこだわり、心のこもったものを贈りたいという真摯な気持ちで取り組み続け、その結果、全国の盲学校からたくさんの感謝の手紙が届いている。手作りの良さというのは意外と心が伝わるもので、苦心して作った甲斐があると喜んで日々活動している。

献血ボランティアや、募金活動にも少しではあるが参加している。赤い羽根共同募金は順心の文化祭(白梅祭)の時に多くのお客さんに呼びかけを行って集めているが、部員のほとんどが、クラスの模擬展や生徒会活動で手いっぱい状態にもかかわらず、交替で募金を呼び掛けている。

藤枝特別支援学校への体育大会や文化祭の応援は、残念ながら順心の学校行事などと重なってしまうことが多く例年に比べて参加の数は減少してしまいました。ただ、障害についての知識や接し方などを徐々に身につけて、相手を思いやる気持ちや上手な支援ができるようになってきた。

ロータリークラブ主催の指導者講習会は、山梨県で開催されたものは2年生が、加藤学園で開催されたものは3年生が参加。

山梨県立甲府城西高校のホストで行われた年

次大会では、『世界平和と美しい地球のために～私たちができること～』をテーマに株式会社日建の雨宮清氏による講演が企画され、地雷除去という国際貢献やサッカーを通じての国際交流についてのお話を聞かせて頂いた。地雷除去をするのと同時に土地を農地として開発したり、地雷によっていかに多くの子供たちが不幸な目にあっているのかなどを、目線を下げて分かりやすく丁寧に話して下さった。部員たちも私も地雷除去のイメージは、生身の人間が命がけで行うのでは?と考えていたが、そうではなく、巨大な重機を開発して、安全に地雷を除去してしかも荒地を農地に変えていくという離れ業をいとも簡単に行っていた。人の思いというのは通じるものだと思っただけに違いない。

エコロジー活動では、モデルチェンジした制服のあまり布で写真タテを製作。余ったものを廃棄せずに再利用する裏技を改めて認識することができた。

愛宕山少年自然の家で一夜を過ごし、翌日はミレーの作品に出逢える山梨県立美術館で美術館のボランティアについての説明を受けた後、絵画鑑賞・文学館で山梨県にゆかりのある作家についての学習を行った。

11月に加藤学園で行われた研修は、全く見ず知らずの高校生同士でチームをつくり難解な課題に協力してチャレンジする内容だった。生徒たちは口をそろえてとても楽しく充実した研修だったと言っていた。

本年度もとても良い体験やボランティア活動を行うことができた。

**藤枝明誠高校と
国立羅東高校交流会**



平成27年1月27日
藤枝明誠高校にて



(担当/土屋君)